

日本火山学会2024年度秋季大会 への参加報告

しみず ひろゆき

志水 宏行

(一財) 砂防・地すべり技術センター
砂防技術総合研究所 主任研究員

2024年10月16日(水)～18日(金)に北海道立道民活動センター(かでの2・7)で開催された「日本火山学会2024年度秋季大会」の火山防災セッションにて、火山砂防対策の概要とこれまでの対策技術に関する自主研究などの成果について、当センターの職員4名が口頭発表を行いました(表-1; 写真-1)。また、団体展示ブースを出展し、火山砂防事業や当センターの仕事内容について紹介しました(写真-2)。

今年度の火山学会秋季大会には494名が参加し、2会場において95件の口頭発表が行われたほか、別会場にて153件のポスター発表も行われ、多くの学生も参加する活気のある会となりました。本年は、火山調査研究推進本部の発足や火山防災の日の制定が実施されたこともあり、特に、火山防災セッションが注目された会となりました。火山防災セッションにおける口頭発表では、藤井敏嗣先生(山梨県富士山科学

研究所)による「火山調査研究推進本部の設立までの経緯」から始まり、政府が責任を持って火山防災対策のための火山調査研究を一元的に進めるために設立された火山調査研究推進本部の体制や取り組み内容についての説明がなされました。また、質疑応答では岡田弘先生(北海道大学名誉教授)より、火山防災においては砂防部局の協力が極めて重要だとのこと発言もありました。他にも、火山防災に関する産業創出・防災行政史・シェルター・土砂移動現象観測・ハザード情報システム構築・登山者行動分析など、多方面から火山防災にアプローチした研究成果が発表されました。その中で、当センターからは、火山防災における火山砂防の重要性や現状の課題について、そして、研究者をはじめとする多くの関係者間の連携が火山防災推進にあたり重要であることを発表し、多くの研究者から賛同を得られたと感じました。

表-1 発表タイトル一覧

	タイトル	発表者	連名者	発表形式
1	火山防災における火山砂防の役割と課題	藤沢康弘	池田暁彦	口頭
2	火山防災における火山砂防対策(ハード対策)	池田暁彦	藤沢康弘	口頭
3	火山防災における溶岩流シミュレーションを用いた火山砂防対策	吉田真也		口頭
4	火山防災における火砕流シミュレーションを用いた火山砂防対策	志水宏行	吉田真也、藤沢康弘、小林拓也	口頭

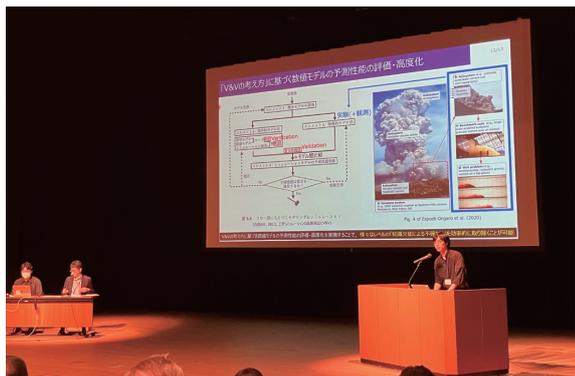


写真-1 火山防災セッションにおける座長(藤沢康弘)と口頭発表(志水宏行)の様子

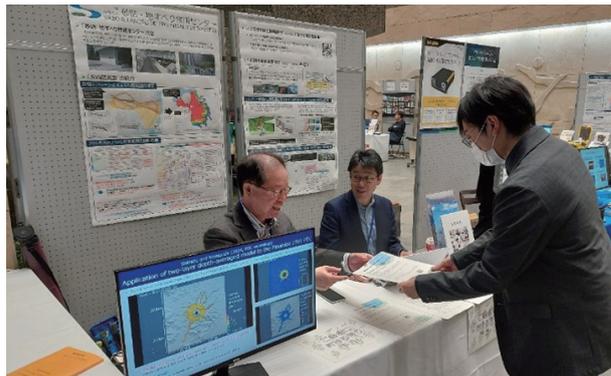


写真-2 団体展示ブースの様子

火山砂防は砂防学における一分野という位置づけにはあるものの、対象現象としては火山学分野と重なる部分が多いため、本大会を通し、常日頃から砂防学・火山学の分野を横断した意見交換・議論を重ねておくことの重要性を改め

て認識しました。一方、火山学分野で得られた知見を火山砂防事業に反映させる上での具体的な課題の整理と解決策の提案が必要であることを強く感じ、これを今後の課題として取り組んでいければと考えています。

鋼製砂防構造物データベースの公開について

(一財)砂防・地すべり技術センター
砂防技術総合研究所 鋼製構造物研究室

令和6年4月の組織改編で新たに設置した鋼製構造物研究室では、鋼製砂防構造物を中心に調査・研究を行っております。その一環として、砂防鋼構造物研究会の協力を得て、鋼製砂防構造物データベースを作成・公開しましたので、ご報告させていただきます。

鋼製砂防構造物データベースでは、施工事例の検索や土砂・流木の捕捉事例の紹介、各種構

造物の説明などを掲載し、鋼製砂防構造物に関する情報について閲覧できるように整備しております。

公開内容については、データの拡充を図るべく、関係者の協力を得て更新・見直しを図るとともに、検索機能の向上などを進め、使いやすくすることを考えています。そこで、ぜひご活用いただき、改善点などのご意見をいただければと考えております。

[鋼製砂防構造物データベース URL]

<https://www.stc.koseisabo.com/>



図-1 データベーストップページ



図-2 鋼製砂防構造物の施工事例の検索



図-3 鋼製砂防構造物の効果発揮事例